

令和4年度「学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）」申請書

大学地域連携創造・支援事業について、次のとおり支援金の交付を申請します。

申請事業名：ふりがな コンソ大学〇×地域魅力再発見プロジェクト（**新規**・**継続**）

過去の採択事業名： 〇×商店街フリマプロジェクト（採択年次：令和元 年度）

※注 学まちコラボ事業への申請について、「新規」または「継続」に〇をつけてください。

「過去に学まちコラボ事業に申請して採択された事業と類似する事業（申請者が同一のもの）」を申請する場合は「継続」に〇をつけ、直近の採択事業名及び採択年次を記入してください。

申請金額： 300,000 円 ※支援金の上限は、30万円です。

【1】申請者の概要

団体・グループ名	(ふりがな) こんそだいがくまちづくりサークル「がくまち」 コンソ大学まちづくりサークル「GAKUMACHI」		
代表者名 (※団体等の代表者)	(ふりがな) がく まちこ 学 まち子		
団体・グループについて	活動年数	6年目	
	開始年月	2016（平成28）年4月	
	所属大学	※団体・グループのメンバーが所属する大学名を記入してください。 コンソ大学	
	団体等の概要	京都市〇〇区の〇×商店街一帯および〇×地域の市民交流の活性化を目的とした活動を行う大学サークル	
	これまでの活動内容の概要	・〇×学区の小学生と保護者を対象としたものづくりワークショップ ・〇×商店街の空き店舗を利用したフリーマーケット ・〇×地域の区民交流館を拠点としたいきいき交流カフェ ・コンソ大学学生による〇×地域魅力再発見ツアー	
Web URL	http://XXX.XXXX.XXXX ※採択時、大学コンソーシアム京都 HP で紹介します。		
連絡先住所・ 連絡先担当者名 (※審査結果の連絡先)	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 連絡先担当者名（本事業の連絡窓口） 学まち 太郎		
電話番号 (※審査結果の連絡先)	携帯電話番号可 ※連絡先変更の場合は必ず連絡すること	FAX 番号	※連絡先変更の場合は必ず連絡すること
E-Mail (※審査結果の連絡先)	PC または携帯のアドレス ※連絡先変更の場合は必ず連絡すること		

※申請後に連絡先の変更があった場合は必ず連絡してください。

※申請の各事項が欄内に記入しきれない場合は別紙（様式問わず）に記載してください。

※申請書の記入例を大学コンソーシアム京都のホームページに掲載しますので、御参照ください。

記入例

【2】事業の概要

申請する事業名	コンソ大学〇×地域魅力再発見プロジェクト
事業の実施期間	2022年8月～2023年2月
主に活動する行政区 ／地域・場所	(京都市〇〇区) / (町内会、学校等) 京都市〇〇区 (〇×学区)
事業の対象者／人数	〇×商店街及び周辺地域の市民全般 / ●●人を想定
どのような目的で事業を実施するのか・事業の効果 <small>(事業を実施する背景・地域のニーズも記入) ※背景・ニーズの記入に当たっては、できる限り、地域の方や関係する行政機関等から意見を聴いて記入してください。</small>	少子高齢化が進む地域において、地域交流が希薄になりつつあるなど、地域活性化が課題となっている。該当行政区役所との意見交換では、「世代を超えた市民の交流と、大学生などの若者の取組による地域活性化が課題」とのことなので、本事業では大学生の目線で京都市域の魅力を発信しつつ、〇×商店街や〇×区民交流館を拠点とした各種催しを通じて地域活性化を目指す。
事業の内容 (目的を達成するために、どのような事業を実施するのか) <small>※事業の内容の詳細を記入してください。</small>	<p>【事業の内容】</p> <p>京都市〇〇区〇×商店街・区民交流館を中心としたエリアで以下の催しを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇×学区の小学生と保護者を対象としたものづくりワークショップ (〇月上旬) ・〇×商店街の空き店舗を利用した映画上映会 (〇月中旬) ・〇×地域の区民交流館を拠点としたいきいき交流カフェ (毎月1回) ・コンソ大学学生による〇×地域魅力再発見オンラインツアー (新規) ・コンソ大学学生による高齢者向けオンライン体操教室 (新規) (〇月、〇月、〇月) <p>〇×地域はかつて、京都の繁華街があった地域であり、神社仏閣、歴史的価値の高い建物・遺跡などが多い地域である。しかし、現在は高齢化が進み、繁華街の拠点も移動したことで、かつての賑わいを失ってしまった。</p> <p>〇×地域にはコンソ大学があるため、通学者や居住者に大学生が一定の割合を占めている。学生の力を〇×地域の魅力や商店街の活性化、市民の交流機会創出に活かし、新たな地域の魅力を広く発信する。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、オンラインを利用した取組を試みる。</p>

記入例

<p>感染症対策の内容</p> <p>※感染しない・させないために、どのような感染症対策を行うのか、具体的に記入してください。</p> <p>※取組やイベントで関わる人や活動内容等を踏まえて、必要となる感染症対策を記入してください。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 学まちコラボ事業感染症対策ガイドラインを遵守します</p> <p>※学まちコラボ事業感染症対策ガイドライン(募集要項別添)を確認の上、<input checked="" type="checkbox"/>してください。</p> <p>○ ものづくりワークショップや映画上映会、いきいき交流カフェなどの対面によるイベントについては、基本的な感染症対策を講じるとともに、以下の感染症対策を合わせて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフは全員当日朝に検温を実施し、開始前に申告する ・ 来場者をカウントし、状況に応じて入場制限を行う ・ ものに触れる前に全員に手指の消毒をしてもらい、スタッフは基本ゴム手袋を着用する ・ 着席は○mの間隔をあけるようにする <p>○ ご高齢の方を対象とした体操教室については、オンラインを活用して実施する。</p>
<p>連携する団体とそれぞれの役割</p>	<p>【連携する地域団体名や大学の団体・グループ名・役割など】</p> <p>※連携団体が決まっていない場合等は、想定しているものを記入すること</p> <ol style="list-style-type: none"> ① コンソ大学地域連携推進室 予算管理、地域団体との調整補助 ② コンソ大学まちづくりサークル「GAKUMACHI」 事業の企画、運営、実施 ③ ○○区○×地域自治連合会 事業に関する広報・地域への呼びかけ、イベント実施協力、アンケート協力 ④ ○×商店街振興会 事業の会場提供、運営協力 ⑤ NPO 法人△○□まちおこし協会 事業企画・運営に関するコンサルティング
<p>事業実施に向けた関係団体等との連携・協議等の状況</p>	<p>※連携団体が決まっていない場合等は、想定しているものを記入すること</p> <p>コンソ大学地域連携推進室、コンソ大学まちづくりサークル「GAKUMACHI」、○○区○×地域自治連合会、○×商店街振興会、NPO 法人△○□まちおこし協会と、定期的な懇談会を設定し、昨年度事業の振り返りと、次年度の課題、事業方針、新規取組等について協議中である。4月に第1回目の会合を開催し、5月上旬に第2回目を予定している。</p>
<p>これまで、大学・学生と地域が連携して取り組んだこと。また工夫していること</p> <p>※ある場合のみ記入</p>	<p>学生の力を○×地域の魅力や商店街の活性化、市民の交流機会創出に活かし、新たな地域の魅力を広く発信するため、企画の段階から、○×地域自治連合会との打ち合わせを重ね、実施する企画の内容や方針について、連携しながら進めている。</p>

記入例

<p>事業の独自性・先進性 (他地域に参考となる点をPRしてください。)</p>	<p>より良い取組となるよう、月に1回程度、関連地域団体と協議する場を設けており、課題や実施事業の方針の共有、取組の振り返りなどを行っている。</p> <p>また、コンサルティングの役割として、まちおこしを専門とするNPO法人の職員の方から取組に対する助言を得ている。</p>
<p>事業の今後の展望、将来性 (地域活性化事業としての将来性をPRしてください。)</p>	<p>今後は、さらなる地域での周知をはかり、対象地域の拡大に期待するとともに、大学を通じた広報活動のほか、新たにSNSやオンラインを活用することで、京都・地域の魅力の発信を強化し、地域の産業、観光、市民交流の活性化につなげる。</p> <p>今年度はオンラインの利用による参加者層の拡大を目指しており、広報方法の多様化(HP制作、SNSなどの活用)などを考えている。</p> <p>また、関わる学生も主催団体に留まらず、大学全体から参加者を募る仕組みを整備する。</p>
<p>事業に継続して取り組むことの意義 (これまでの取組を踏まえ、改善したことや新しく取り組むことなどを併せて記入してください。)</p>	<p>※継続事業の場合は必ず記入してください。</p> <p>事業が5年目を迎え、認知度が少しずつ上がってきたことにより、これまで以上に、世代を超えた市民との交流が見られるようになっており、今後も継続して実施することが必要だと考えている。</p> <p>課題として、フリーマーケットや交流カフェ等に参加される方の固定化が見られるため、HP制作やSNSなどを活用し広報策を充実させることで、新たな参加者獲得につなげていきたい。</p>

(参考) SDGs について

<p>事業が貢献するSDGs(持続可能な開発目標)の目標番号 ※審査に直接関わるものではありません。</p>	<p>※6 ページの『参考資料 SDGs(持続可能な開発目標)について』を御参照の上、自身の取組が以下のどの目標に貢献できるか、該当する番号を<input checked="" type="checkbox"/>してください。(3つまで)</p> <p> <input type="checkbox"/>1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/>6 安全な水とトイレを世界中に <input checked="" type="checkbox"/>11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/>16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/>2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/>12 つくる責任つかう責任 <input type="checkbox"/>17 パートナーシップで目標を達成しよう <input checked="" type="checkbox"/>3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/>8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/>13 気候変動に具体的な対策を <input checked="" type="checkbox"/>4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/>9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/>14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/>5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/>10 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/>15 陸の豊かさを守ろう </p>
---	---

記入例

【3】 予算書

事業経費			
経費区分	支出予定額	うち本支援金額 (上限30万円)	(支出予定額)の内訳
旅費交通費	60,000	60,000	イベント会場への交通費 4名*1,500円*10(区間、交通手段、回数)
通信運搬費	5,000	5,000	関係機関チラシ送付代
会議費	15,000	15,000	〇〇のための会議に係る会場 使用料5,000円*3回(会場名)
印刷製本費	50,000	50,000	イベントチラシ作成(A4判〇枚)
機材購入費	100,000	50,000	動画作成用ビデオカメラ購入
消耗品費	20,000	20,000	ワークショップ用物品購入 (〇〇、〇〇等)
感染症対策費	100,000	100,000	消毒液・パーテーション購入、 Wi-Fiルーターレンタル料200 円*5日*20台(料金、日数、台 数)
対象経費小計(A)	350,000円	300,000円	
飲食費	100,000	/	参加者弁当代
対象外経費小計(B)	100,000円	/	
合計(C) = (A) + (B)	450,000円	300,000円	

収入額			
区分	収入予定額	内訳	
学まちコラボ事業支援金	300,000	/	
その他 の資金	その他補助金	100,000	コンソ大学チャレンジ奨学金
	事業収入	10,000	〇〇イベント参加費(①100円× 20人×5回)
	寄附金・協賛金	30,000	〇×商店街振興会協賛金
	自己負担金	10,000	
合計(D)	450,000円	/	

※「支出予定額」の合計額(C)と「収入予定額」の合計額(D)は一致します。また、事業経費の「うち本支援金額」の小計と、収入額の「学まちコラボ事業支援金」の金額は一致しますので、確認してください。

記入例

【留意事項】

1. 支援金の対象となる経費：「申請した取組に直接かかる経費」のみ

- ・ 旅費交通費(出張に伴う交通費など)
- ・ 通信運搬費(電話代、郵送料および宅配料など)
- ・ 諸謝金(講師や外部協力者に対する謝金など)
- ・ 会議費(会議等の開催に要する会場利用料など)
- ・ 印刷製本費(資料などのコピー代、チラシの作成費など)
- ・ 資料費(図書・文献購入費など)
- ・ 機材購入費(採択された支援金額の3分の1まで)
- ・ 消耗品費(事務用品、事業に必要な備品(5万円未満)、ソフトウェアライセンス料など)
- ・ 感染症対策費(感染症対策に係る物品の購入・レンタル費など)
例：Wi-Fi ルーター・Web カメラのレンタル費、フェイスシールド・消毒液の購入費
- ・ その他(保険料、委託費など)

2. 対象外経費（支援金の対象とならない経費）

- ・ 各団体の運営のために支出する経費
 - ・ 事務処理にかかる間接経費
 - ・ 飲食費（昼食代や会議・懇談会の茶菓代、謝礼としてのお菓子代等）
 - ・ 申請団体メンバーへの賃金等
- ※ 事業実施が不可能な場合や事前に相談なく事業内容を大幅に変更した場合、また、決算時にその他収入（事業収入や協賛金）が多くなり、黒字となる場合などには、**支援金の全額又は一部を返金**していただくことがあります。新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、活動内容の変更を検討する場合は、**予めご相談ください。**
- ※ 支援金は採択決定後速やかに支給しますので、**立替えは不要**です。
- ※ 支援対象となる経費の幅が広く、比較的自由な使い方が可能です。

3. 他の助成金を申請している場合（予定を含む）

助成申請事業名、申請先、収入額(申請額)、決定日(予定)を**下表に必ず記入してください。**

※本事業以外の京都市助成金（各区まちづくり支援事業等）の採択決定の場合、本事業認定は受けられません。

助成申請事業名	申請先	収入額(申請額)(円)	決定日(予定)
コンソ大学チャレンジ奨学金	コンソ大学	100,000円	2022年6月上旬

4. その他

「支出予定額」の合計額(C)と「収入予定額」の合計額(D)は一致します。また、事業経費の「うち本支援金額」と、収入額の「学まちコラボ事業支援金」の金額は一致しますので、予算書作成時に確認してください。

記入例

参考資料 SDGs（持続可能な開発目標）について

記入のお願い

申請する事業において、以下の17の開発目標のうち関連が深いものの番号とその選択理由や関連性を、申請書の『【2】事業の概要：事業が貢献するSDGs（持続可能な開発目標）の目標番号欄』へ記入してください（複数ある場合は、主な3つまでに絞ってください）。

持続可能な開発目標 SDGs とは

SDGs（エスディージーズ）は、2015年9月の国連サミットにおいて、気候変動、自然災害、生物多様性、紛争、格差の是正などの国内外の課題の解決に向けて掲げられた国際目標（17の目標と169のターゲット）です。

2030年までの目標達成に向けて、世界の全ての国・地域の政府だけでなく、更には地方自治体や民間企業等もその達成に向けて取り組むこととされています。

「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会を築いていくためには、「ひとごと」でなく「じぶんごと」「みんなごと」としてSDGsの達成に皆で取り組むことが重要です。皆さんの活動が、SDGsのどの目標の達成に貢献できるか、ぜひ考えてみてください。

【参考】持続可能な開発目標(SDGs)の概要



ロゴ：国連広報センター作成

【参考】持続可能な開発目標(SDGs)の詳細

目標1（貧困）	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2（飢餓）	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3（保健）	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4（教育）	すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5（ジェンダー）	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う。
目標6（水・衛生）	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7（エネルギー）	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8（経済成長と雇用）	包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
目標9（インフラ、産業化、イノベーション）	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10（不平等）	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11（持続可能な都市）	包括的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12（持続可能な生産と消費）	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13（気候変動）	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14（海洋資源）	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15（陸上資源）	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を防止する。
目標16（平和）	持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17（実施手段）	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

外務省 HP 『持続可能な開発のための2030アジェンダ』より抜粋